

2010年12月6日 新しい“コミュニティー”「一志会」の第1回会合が12月6日開催されました。

当社は今年7月に設立10周年を経過し、今後更に事業を通じ社会に貢献できればとの想いを強くしております。

現在、政治・行政が十分な役割を果たしていない状況の下、日本の経済社会の混迷が続いています。今暫く、政治・行政に多くを期待出来ません。「民」は独立自尊で生きていかなければなりません。これまで以上に「民」も「公の精神」を持って行動することが求められています。企業経営に携わる経営者の役割が格段に大きくなっております。



そこで、各業界から横断的に相当の規模で事業を営んでいる企業の経営の重責を担う経営者に参加してもらい、「公」との係りについて研鑽し袂を脱いだ交流を通じメンバー間の絆を深めて、各人のそれぞれの活動の糧にしてもらうことを目的とするコミュニティー「一志会」を創設しました。

メンバーには、一柳の生き方に賛同し、この会合を契機に社会との関わりを認識し少しでも事業などを通じ社会に貢献したいとの想いのある企業経営者を、お呼びしました。

第1回会合では、始めに一柳が本会合創設の想いを熱く語りました。

続いて、本会の後見役である西川善文特別顧問（三井住友銀行名誉顧問）が、ご自身のご経験を踏まえ、会社経営者等のリーダーの条件についてお話しになりました。



一 柳



三井住友銀行名誉顧問 西川善文氏

本日出席の23名のメンバーの皆様から、自己紹介並びにウイットに富む話を交え本会参加の抱負を語ってもらいました。会員の皆様からは、参加者一人ひとりの会社経営並びに社会への熱い想いが感じられ、この集まりの今後が大いに期待出来るとの声をお聞きしました。